

FAX稲作情報 NO. 11

令和5年8月10日
三条農業普及指導センター
電話：0256-36-2259
FAX：0256-36-2280

収穫時期は早まる見込み、早めの収穫準備を！

【2週間気温予報】（北陸地方） 令和5年8月10日新潟地方气象台発表

かなりの高温が14日まで続く見込み。（かなりの高温：5日間平均気温平年差+2.2℃以上）向こう2週間の気温も引き続きかなり高い日が多い見込み

■収穫時期の判断 ～高温障害のリスク高まる！刈遅れ厳禁！～

- ・いずれの品種も出穂後の高温により、胴割粒、白未熟粒発生の危険性が高まっている。刈遅れにより被害が拡大するため、収穫作業計画を立て適期収穫に努める。

【収穫時期のめやす^{※1}】

品種	出穂期 ^{※2} (地域平均)	積算気温 (高温年)	収穫適期 ^{※3}
新潟次郎	7月15日	950℃	8月17日
五百万石	7月16日	925℃	8月17日
ゆきん子舞	7月20日	900～950℃	8月20～22日
こしいぶき	7月22日	925℃	8月23～24日
こがねもち	7月26日	950℃	8月27日
コシヒカリ (5月5日植え)	7月31日		9月2日

※1 三条アメダスによる登熟積算気温（8/9まで本年値、8/10以降は気温予報値より推定）

※2 5月連休植えを想定した出穂期、コシヒカリは5月5日植えの出穂期

※3 高温登熟年における収穫時期のめやす（通常年より積算気温が50℃少ない）

注）ほ場ごとの刈取適期は、籾黄化率（85～90%の頃）を確認して判断する。

■水管理 ～かけ流しを行わず、地域全体で節水し効率的な活用を～

- ・出穂後25日頃までは、飽水管理を継続する。
- ・フェーン発生時は、地域の用水の供給状況を確認し地域全体に用水が行きわたるよう、異常高温が発生する前からかん水を始める。水が行き渡ったら速やかに水口を止め、湛水深は可能であれば2～3cmとし、長期間の湛水は避ける。

猛暑が続きます。日中の作業を避けこまめな水分補給を行いましょう。

